

広域連携をとりながら、産業観光ツアーのさらなる充実に努めます。

(山口県宇部市)

宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会 会長 **大林 哲夫**



プロフィール

1946年山口県生まれ。大林スポーツ代表取締役。2012年4月より一般社団法人宇部観光コンベンション協会会長、5月より宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会会長を務める。

は、CSR（企業の社会的責任）によってまちが形成されてきたことでした。この地域には、地元の間が地域資源を生かして産業を興し、地域の発展のために尽くしたという歴史と自負があります。宇部興産創業者の渡邊祐策、秋吉台の麓に大理石採掘所を建設した本

間俊平、旧小野田セメント創業者の笠井順八はその代表格と言えます。また、地元企業が整備した都市インフラが多く存在し、現在もそのDNAが受け継がれています。実際に地元企業のOBの方の話を聞くと非常に面白く、働きがいや社会のために尽くす意義・喜びなどが上手く伝われば、旅行者のニーズを捉えることも可能であるということから、CSRをテーマにした産業観光が生まれました。

2007年度にモニターツアーを行い、翌年度から本格的に実施しました。現在は「大人の社会派ツアー」と題し、18種の旅プランを年間35回開催しています。

このツアーの特徴となっているのが、「産業観光エスコーター」です。企業のOBや関係者、郷土史家の方々がエスコーターとしてツアーに同行し、実体験や文献資料などに基づいた豊富な話題を提供してくれます。彼らによる話は本当に素晴らしく、皆さん実際に聞かれるとびっくりします。

Q どのプランが人気ですか。

大林：一番の人気は、「セメントの道」をテーマにした「石灰石鉱山と宇部興産専用道路」のコースです。採掘現場やセメント工場を見学し、日本一長い私道である全長約30kmの宇部興産専用道路をバスで走行しま

す。その途中のトレーラー整備場では、運が良ければ石灰などを輸送している全長30mほどのダブルストレーラーの運転席に座ることができ、最後に宇部興産の本社にあるUBE-i-Plazaで最終的な製品や同社の歴史などを学びます。その他にも、「知られざる『窯のまち小野田』とガラス細工体験」コースや美祢社会復帰促進センターを見学する「旧無煙炭採掘施設と国内初の官民協働運営の刑務所」コースも人気です。昨年度より工場夜景とイルミネーションのコースを新設しましたが、今年度もすぐに定員になりました。

Q 開始から6年がたち、参加者の変化はありますか。

大林：県外比率が高まっており、特に募集型ツアーは、首都圏からの参加が多いようです。最近では受注型ツアーの数が募集型に対して1.7~2倍ほど多くなっています。昨年度は地元からの参加が少し減ったので、今後は地元でのPRもさらに力を入れていきたいと思っています。

Q 今後の課題についてはどう捉えていますか。

大林：受入先は企業が多いため、コースによっては土日の開催が難しいのが現状です。土日でも集客できるコースが生まれれば、参加者数はさらに伸びると思いますので、他の新しい観光資源の発掘が必要です。また、遠方からの参加者が泊まる際には長門市の湯本温泉や山口市の湯田温泉に流れているようなので、この地域に泊まってもらうための工夫も進めていきたいところです。

全国へのPRはまだ十分ではないので、県外の方にももっと来ていただけるようにアピールしていきます。産業観光で知名度を上げることによって、3市をもっと知ってもらうきっかけになればと思います。

インタビュー・構成：
城市奈那（株式会社ジェイクリイト）

Q 第7回産業観光まちづくり大賞で宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会（以下、推進協）が銀賞を受賞しました。7年前の特別賞に続き、2回目の受賞です。

大林：観光は歴史的要素を資源とすることが多い中で、宇部、美祢、山陽小野田の3市は全国であり知られていない地域でありながら、毎年参加者が増えていることを評価していただいたのだと思います。表彰が行われた全国産業観光フォーラムへの参加の際、開催地の石川県小松市を観光しましたが、九谷焼に加賀友禅、さらには温泉と素晴らしい観光要素が多くありました。それに比べると、われわれはほとんど何もないようなものですが、ストーリー性を持ったツアーを組み、産業観光を作り上げてきました。最近ではテレビなどで取り上げられることも増えて、今回のフォーラムでも色々な団体の方から話しかけられました。どんどん認知されてきていることを実感します。

Q 推進協で実施されている産業観光ツアーはどのような経緯で始まったのでしょうか。

大林：2006年度から県と協働で産業観光の研究を開始し、翌年度に広域連携による推進協が設立されました。観光資源の再評価を行う中で、一番の資源として導き出されたの